

組合員は増加して居る。産業協力運動が進展して三年以内の辛澁は二十
件に達してゐる。何れも交渉戦にて解決してゐる。労働会館も六館有る

山田病院と団体協約を締結して組合員中の貧病者の治療を完施してゐる。

九州聯合會

伊藤 卯四郎

産業協力の結果辛澁も少なくなり組合事業も進展して来た。小倉製洞分
働合館の建設も完成を見た。産業協力の指導精神に基き県管会、協同会、
後援を得て労資懇話会を七回に亘り開催した。初めは事業主側に出席を
避ける者もあつたが、今には出席する所は、事業主の肩身が狭い感がある
位である。目下「産業委員会」の設置を提唱してゐる。井田引水で
よく、事業として、社会から惣同整の健全な運動が信頼され、来た。